

愛知県流域下水道事業経営戦略 2023 年度の実績

1 数値目標※1

項 目		2014年度 (基準年)	中期目標	2023年度 までの実績	進捗状況等
快適な 水環境 を創造 する	下水道処理人口普及率 (名古屋市含む)	75.6%	約85% (2025年度)	81.5%	2025年度までの目標85%に対し、5.9%進捗した (目標に対する達成率62.7%)
	高度処理人口普及率 (名古屋市含む)	40.7%	約55% (2025年度)	49.2%	2025年度までの目標55%に対し、8.5%進捗した (目標に対する達成率59.4%)
安心・ 安全な まちづ くりを 支える	流域下水道の耐震化 処理場・ポンプ場	216施設	269施設 (2023年度)	246施設	2023年度までの目標53施設に対し、 30施設整備した(目標に対する達成率56.6%)
	流域下水道の耐震化 管きよ	332km	332.9km (2023年度)	332.9km	2023年度までの目標0.9kmに対し、 全て完了した(目標達成)

※1 数値目標は、『あいち下水道ビジョン2025』に示したもののうち、流域下水道に関連するもののみ記載。

2 経営指標

項 目		2023年度実績	2022年度実績	2022年度 類似団体平均※2
経営の 健全性	経常収支比率【単年度損益】	100.15%	95.53%	99.22%
	流動比率【キャッシュフロー】	81.47%	93.49%	104.74%
経営の 効率性	汚水処理原価【費用の効率性】	50.29円/㎥	48.53円/㎥	52.53円/㎥
	施設利用率【施設の効率性】	75.91%	77.43%	67.10%
	水洗化率【施設の効率性】	87.67%	87.48%	94.02%
老朽化 の状況	有形固定資産減価償却率【施設全体の減価償却の状況】	17.75%	14.59%	36.77%

※2 類似団体平均は、全国の流域下水道事業を実施している自治体のうち、供用後30年経過している自治体の平均。

3 投資・財政計画との比較

収益的収支(税抜)		(単位:千円)			
区 分	年 度	2023年度			
		計画値(A)	実績値(B)	(B)-(A)	(B)/(A)
収 入	営業収益	13,313,473	14,179,104	865,631	106.5%
	営業外収益	16,181,356	16,174,731	△ 6,625	100.0%
	収入計	29,494,829	30,353,835	859,006	102.9%
支 出	営業費用	27,873,030	28,296,874	423,844	101.5%
	営業外費用	1,608,849	2,010,301	401,452	125.0%
	支出計	29,481,879	30,307,175	825,296	102.8%
経常損益		12,950	46,660	33,710	360.3%
特別利益		0	53,315	53,315	—
特別損失		0	78,453	78,453	—
特別損益		0	△ 25,138	△ 25,138	—
当年度純利益(又は純損失)		12,950	21,522	8,572	166.2%

特別利益：豊川流域において、災害により損失した資産について、残存価格分の収益化を行ったことによる

特別損失：豊川流域において、災害により損失した資産の除却による

資本的収支(税込)		(単位:千円)			
区 分	年 度	2023年度			
		計画値(A)	実績値(B)	(B)-(A)	(B)/(A)
収 入	企業債	5,888,000	5,489,000	△ 399,000	93.2%
	他会計出資金	2,000,079	1,703,710	△ 296,369	85.2%
	国庫補助金	8,870,691	7,011,885	△ 1,858,806	79.0%
	建設負担金等	1,732,049	1,461,253	△ 270,796	84.4%
	収入計	18,490,819	15,665,848	△ 2,824,971	84.7%
支 出	建設改良費等	14,675,460	12,115,911	△ 2,559,549	82.6%
	企業債償還金等	8,040,292	8,073,178	32,886	100.4%
	支出計	22,715,752	20,189,089	△ 2,526,663	88.9%
損益勘定留保資金等充当額		4,224,933	4,523,241	298,308	107.1%

4 2023 年度の主な取組

○汚水処理施設整備（管きよの整備）

- ・新川東部流域下水道 西春中央幹線 L= 874m（2024 年度完了予定）
- ・新川東部流域下水道 西春北部幹線 L= 717m（2024 年度完了予定）
- ・新川西部流域下水道 春日幹線 L= 856m（完了）、L=991m（2024 年度完了予定）

○汚水処理施設整備（水処理施設の増設、高度処理施設の整備）

- ・矢作川浄化センター Q=20,000㎥/日（2023 年度完了）
- ・境川浄化センター Q=17,400㎥/日（2024 年度完了予定）
- ・五条川右岸浄化センター Q=16,000㎥/日（2025 年度完了予定）
- ・新川西部浄化センター Q= 2,400㎥/日（2024 年度完了予定）

○地震対策（処理場の耐震化、非常用自家発電設備の整備）

- 〔処理場の耐震化〕 矢作川浄化センター、豊川浄化センター
- 〔自家発電設備の整備〕 衣浦東部浄化センター（2024 年度完了予定）
境川浄化センター（2024 年度完了予定）

○老朽化対策（処理場）

- ・矢作川浄化センター、境川浄化センター、衣浦西部浄化センター、衣浦東部浄化センター、
豊川浄化センター、五条川左岸浄化センター、日光上流浄化センター、
五条川右岸浄化センター、日光川下流浄化センター、新川西部浄化センター

○広域化・共同化

- ・衣浦西部浄化センター（共同汚泥処理）・日光川上流浄化センター（広域化・水処理）

○下水汚泥のエネルギー利用

- ・矢作川浄化センター（バイオガス燃料利用） ・豊川浄化センター（バイオガス発電）
- ・衣浦東部浄化センター（炭化燃料製造）

○施設・土地の有効活用

- ・衣浦西部浄化センター、豊川浄化センター、日光川下流浄化センター（太陽光発電・土地貸付）